



## 1 地域の特徴

### (1) 位置

区の南西部に位置する南長崎1丁目から6丁目の区域です。西武池袋線以北は長崎・千早地域、環状6号線（山手通り）以東は目白地域、南側は新宿区、西側は練馬区と中野区に接しています。

### (2) 市街地の変遷

江戸時代から明治時代にかけて、米、雑穀、蔬菜類を栽培し、江戸・東京の中心部へ持ち込む都市近郊型の農村地帯でした。宝永7（1710）年、現在の南長崎派出所手前の二又地点に道標を兼ねて建てられた地蔵は、昭和13（1938）年の道路拡幅工事により、南長崎2丁目3番の現在地に子育て地蔵として移設されます。これは、路傍の石造物の役割が時代により変わる好例と言えます。そして、現在も商店や病院が集まるこの一帯は、地域の中心地となっています。

大正時代になり、武蔵野鉄道（現西武池袋線）が開通し、東長崎駅と椎名町駅が開設されました。

昭和初期に耕地整理が始まり市街化が進みます。しかし、戦災により地域の南部では被害を受けましたが、戦後、銀行や映画館が立地するなどにぎやかな商店街が形成されていきました。

昭和30（1955）年代、手塚治虫をはじめ多くの漫画家が暮らしていた「トキワ荘」が、現在の南長崎3丁目にありました。その後、住宅の建設が一層進み、今日の市街地が形成されています。平成9（1997）年には、都営大江戸線の落合南長崎駅が開設されました。

図表5-107 長崎町大和田通りの酒屋（昭和6（1931）年）



資料：写真で見る豊島区50年のあゆみより転載

図表5-108 西武電車当時の東長崎駅



画像提供：西武鉄道株式会社

### (3) 主な景観要素

#### ①地形・自然

- 椎名町公園や南長崎はらっぱ公園、南長崎スポーツ公園など、それぞれ個性を持った公園があります。

#### ②歴史・文化

- 五郎久保稲荷神社や子育て地藏、江戸時代と同じ様式で再建された岩崎家住宅など、地域の歴史・文化を伝える資源があります。
- マンガ文化の草創期を担った手塚治虫、石ノ森章太郎、赤塚不二夫などが創作活動に勤しんだトキワ荘や紫雲荘<sup>25</sup>がありました。令和2（2020）年には、トキワ荘を復元したトキワ荘マンガミュージアムが跡地近くの南長崎花咲公園内に開館しました。
- 南長崎花咲公園や南長崎通り（トキワ荘通り）には、マンガ文化を象徴するモニュメントやお休み処が設置されています。
- 南長崎スポーツ公園は、スポーツセンターやサッカー場、芝生広場、じゃぶじゃぶ池などがあり、地域のスポーツ拠点となっています。

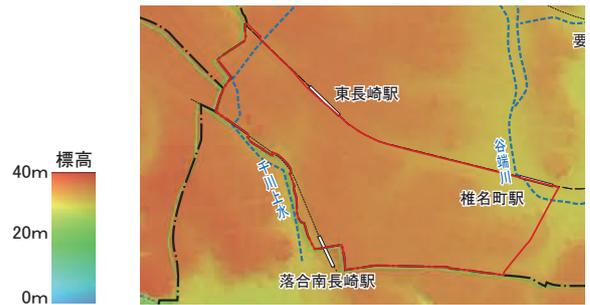
#### ③まち・界隈

- 椎名町駅や東長崎駅周辺、南長崎通りなどでは、商業業務施設が立地し、店舗併用住宅も多くあります。
- 都市計画道路補助26号線は、東京都が令和6（2024）年度までの整備をめざす特定整備路線に位置づけられています。

#### ④人々が織りなす魅力

- トキワ荘の記憶を後世に伝える「トキワ荘協働プロジェクト」が、地域によって進められています。

図表5-109 南長崎地域の等高線



資料：基盤地図情報数値標高モデル(国土地理院)をもとに作成

図表5-110 五郎久保稲荷神社



図表5-111 南長崎スポーツ公園



図表5-112 長崎銀座商店街



## 2 景観まちづくりの視点

- トキワ荘や紫雲荘で育まれたマンガ文化を地域の個性にした景観まちづくりが必要です。
- 寺社や公園、低層住宅地のみどりを生かして、潤いの広がる街並みづくりが必要です。
- 南長崎通りや南長崎スポーツ公園などで、人々が楽しむ表情を大切にした風景づくりが必要です。

### 3 景観まちづくり方針

#### 1 ゆとりと潤いを創出する

- 南長崎はらっぱ公園や椎名町公園、南長崎スポーツ公園、低層住宅地などのみどりを生かして、潤いの広がる街並みづくりを進めます。

図表5-113  
南長崎はらっぱ公園のポニータイム



#### 2 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

- 五郎久保稲荷神社や子育て地蔵などを地域の資源として引き継ぎ、歴史を感じられる景観を形成します。
- 日本のマンガ文化の出発点となった歴史を楽しめる街並みをめざします。

#### 3 人々の生活・営みを映す

- 椎名町駅、東長崎駅及び落合南長崎駅周辺は、地域の人々が活発に交流し、にぎわう生活拠点にふさわしい街並みを形成します。
- 駅周辺や大和田通り、南長崎通りの商店街では、日常生活に密着した親しみのある街並みをめざします。
- 南長崎スポーツ公園では、様々なスポーツを楽しむ人々の姿を大切な風景として育んでいきます。

#### 4 地域の特性を惹き立てる

- 山手通りや目白通り沿道は、みどりの潤いを感じられる安全で快適な歩行者空間を形成します。
- 特定整備路線である補助26号線の整備とあわせて、地域特性を踏まえながら、道路と沿道が一体となった景観を形成します。
- 南長崎4、6丁目の低層住宅地は、みどり豊かで落ち着きのある街並みを維持・保全し、ゆとりと潤いを感じられる安全な住環境を形成します。

#### 5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

- 地域によるトキワ荘協働プロジェクトの取り組みと連携し、個性ある景観まちづくりを進めます。
- 池袋モンパルナスの文化を魅力とした長崎・千早地域と連携し、文化芸術を楽しめるフットパスマップの作成など、人々の回遊性を高めていきます。

図表5-114 トキワ荘ゆかりの地 散策マップ



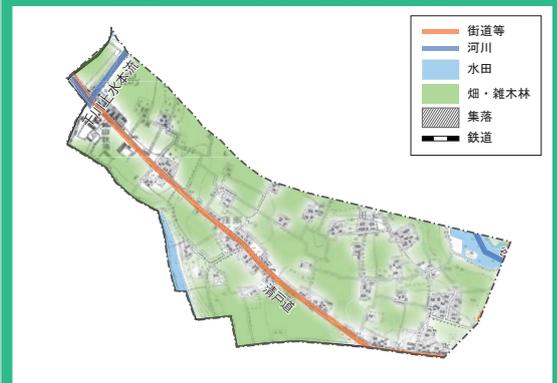
図表 5-115 南長崎地域の景観まちづくり方針図



第5章

地域別景観まちづくり方針（南長崎地域）

明治42(1909)年の市街地の様子



出典：豊島区地域地図第四集 2011、豊島区史跡めぐり

凡例

	ゆとりと潤いを創造する		鉄道駅周辺
	歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する		みどりの骨格軸
	人々の生活・営みを映す		みどりの回廊(幹線道路)
	地域の特性を惹き立てる		坂
	個性ある街並みを創造し、 楽しめる仕組みを構築する (全城)		文化資源
	坂		新たな文化拠点
	寺社		旧道
	花の名所		旧河川
	大学		神田川
	教育施設		公園など
	祭り		みどりの回廊(街路樹)
			鉄道(JR)
			鉄道(東武・西武)
			都電
			都市計画道路未着手区間